

—文字式の表し方のきまりにしたがって、商を表すことができるようになる— p. 57

—いろいろな数量を文字を使って表すことができるようになる—④—p. 54～57

学習日 月 日

年 組 番 氏名

1 次の空らんにあてはまることばや記号を書きなさい。

(1) 文字の混じった除法では、記号 を使わずに の形で書く。

(2) 分数の形で書くときは、次のように書いてもよい。

① $a \div 3$ は $a \times \frac{1}{3}$ であるから、
 $\frac{a}{3}$ は と書いてもよい。

② $\frac{2x}{5}$ を と書いてもよい。

2 次の式を、文字式の表し方にしたがって表しなさい。

- ① $a \div 2$ ② $2x \div 3$
- ③ $(x - 5) \div 4$ ④ $a \div (-5)$
- ⑤ $(x + y) \div 7$ ⑥ $x - y \div 3$

3 次の数量を、文字を使った式で表しなさい。

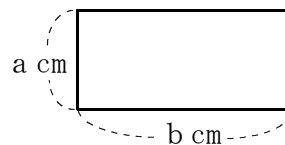
(1) x 円のノートを3冊と y 円のえんぴつを6本買ったときの代金の合計

答 _____

(2) x mLのジュースを4人で等しく分けたときの1人分のジュースの量

答 _____

(3) 縦が a cm、横が b cmの長方形の面積



答 _____

(4) 底辺が x cm、高さが y cmの三角形の面積

答 _____

4 次の式を \times や \div の記号を使って表しなさい。

① $3ab$ ② $-4a^2$

③ $\frac{3a}{5}$ ④ $2a + \frac{b}{7}$

⑤ $\frac{x-y}{2}$ ⑥ $x + \frac{y}{4}$

1

(1) 文字の混じった除法では、記号 \div を使わずに 分数 の形で書く。

(2) 分数の形で書くときは、次のように書いてもよい。

① $a \div 3$ は $a \times \frac{1}{3}$ であるから、

$\frac{a}{3}$ は $\frac{1}{3} a$ と書いてもよい。

② $\frac{2x}{5}$ を $\frac{2}{5} x$ と書いてもよい。

2

① $a \div 2 = \frac{a}{2}$
 $\frac{1}{2} a$ も可

② $2x \div 3 = \frac{2x}{3}$
 $\frac{2}{3} x$ も可

③ $(x-5) \div 4 = \frac{x-5}{4}$

④ $a \div (-5) = -\frac{a}{5}$
 $-\frac{1}{5} a$ も可

⑤ $(x+y) \div 7 = \frac{x+y}{7}$

⑥ $x-y \div 3 = x - \frac{y}{3}$
 $x - \frac{1}{3} y$ も可

③と⑥については、分数の横棒 (括線) かつせん がかつこの役割をするので、分子にかつこをつける必要はありません。

3

(1) x 円のノートを3冊と y 円のえんぴつを6本買ったときの代金の合計

$$x \times 3 + y \times 6 = 3x + 6y$$

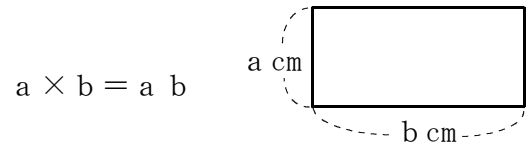
答 $(3x + 6y)$ 円

(2) x mL のジュースを4人で等しく分けたときの1人分のジュースの量

$$x \div 4 = \frac{x}{4}$$

答 $\frac{x}{4}$ mL $\frac{1}{4} x$ mL も可

(3) 縦が a cm, 横が b cm の長方形の面積



答 $a b$ cm²

(4) 底辺が x cm, 高さが y cm の三角形の面積

(三角形の面積) = (底辺) \times (高さ) $\div 2$

$$x \times y \div 2 = \frac{xy}{2}$$

答 $\frac{xy}{2}$ cm² $\frac{1}{2} xy$ cm² も可

4

① $3ab = 3 \times a \times b$

② $-4a^2 = -4 \times a \times a$

③ $\frac{3a}{5} = 3 \times a \div 5$

④ $2a + \frac{b}{7} = 2 \times a + b \div 7$

⑤ $\frac{x-y}{2} = (x-y) \div 2$

⑥ $x + \frac{y}{4} = x + y \div 4$